

杉並芸術会館が催した事業の申込者情報が閲覧可能であったことについて

杉並芸術会館（座・高円寺）の指定管理者が主催した事業の申込者情報が閲覧可能であったことについて、先の特別委員会で報告した後に申込者へ調査を行いましたので、その結果等を以下のとおり報告します。

1 申込者への調査

(1) 調査対象者

オンラインフォームで申し込みをした31名から通報者を除いた30名。

(2) 調査概要

令和6年3月1日の文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会において報告した表題の件について、指定管理者がオンラインフォームによる申込者を対象に「他の申込者の情報を見ることができた」及び「情報が見られたように感じた出来事があった」に該当する者が存在するか調査を実施した。

(3) 調査方法

メール、電話、郵送、訪問。

(4) 調査結果

回答総数	30名
「他の申込者の情報を見ることができた」との回答	1名※
「情報が見られたように感じた出来事があった」との回答	0名

※見ることができた情報については、外部に流出させていないことを確認した。

2 指定管理者における再発防止に向けた対応

- 全職員を対象に個人情報保護に関する研修を実施した。（2月27日）
- 新たな調査結果をホームページに公表した。（4月11日）
- 新規採用職員2名を対象に個人情報保護に関する研修を実施した。（4月22日）
- Google フォームは使用しない。新たな申込フォームの利用を検討している。（9月25日以降に Google フォームを利用し募集を開始した事業はない。）